

件名	水素ガスの大量生産について
受付日	令和4年8月30日
ご意見・ご提案の概要	<p>ガスや電力不足の現在、海水から水素を取り出してエネルギーに変換させ、自給自足にしていきたい。</p> <p>電気自動車は停電時に充電できず、車は走れないため、水素ガスで車を走らせるべきだと考える。</p>
県の考え方	<p>水素の自給自足については、海水を利用するものではありませんが、岐阜県、八百津町、岐阜大学、関係事業者3社で連携協定を結び、同町内において、再生可能エネルギーから創出した水素を地域で活用する地産地消型エネルギーシステムを構築するプロジェクトを進めているところです。</p> <p>また、水素で走る燃料電池自動車については、平成27年度に公用車として1台導入し普及啓発を開始、令和3年度には3台導入し企業貸出を開始、令和4年度には企業向け補助金を創設、と段階を踏んで支援の充実を図り、水素ステーション整備に係る補助金も継続しています。</p> <p>水素が、県民や企業にとってより身近なものとなり、日常生活や産業活動の中で利活用される社会の実現を目指してまいります。</p>
担当課	商工労働部 商工・エネルギー政策課